

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 竹下日出志		<p>る考えはないか。</p> <p>(3) 誰もが安心して暮らせる環境づくりとして、耳の不自由な方へ「耳マークのシール」、内部障害者用の「ハート・プラス」マークや、妊産婦の方への「マタニティマーク」の表示を公共施設や駐車場等で普及に取り組む考えはないか。</p> <p>(4) 県は、高齢者の健康づくりや社会参加活動について地域商品券等にも交換できるポイント制度を創設し、高齢者の介護予防への取組みを促進するとともに、併せて地域経済の活性化を図る目的で、「高齢者元気度アップ推進体制づくり事業」を実施する。本年、始良市で実施される介護予防ボランティア制度にも、地域商品券等に交換できるポイント制度を導入する考えはないか。</p>	市長
	2. 「豊かな人間性を育むまち」づくりについて	<p>(1) 全ての市民が子育てに関心を持って、子どもたちに温かい心で接しながら見守り、良さを見つけ「地域の宝」である子どもの成長・発達を地域全体で支援していく取り組みとして、「子どもをほめる条例」を制定する考えはないか。</p> <p>(2) 子どもたちが赤ちゃんと触れ合い、関わることは思いやりの心や、命を大切にする心の育成につながる貴重な体験学習と考える。「命のふれあい教室」を市内の全小・中学校で実施する考えはないか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 竹下日出志	3. 地域に開かれた学校づくりについて	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場であるとともに、災害時における避難場所としての役割を果たしている。</p> <p>(1) 地域の拠点として、蓄電機能等を備えた太陽光発電設備の整備や校庭に屋外照明灯の設置、マンホールトイレの設置など、防災機能の向上を図る考えはないか。</p> <p>(2) 平成23年12月26日、鹿児島県ドクターヘリの運行が開始され、始良市においても傷病者救命率向上や後遺症の軽減に大きな成果が上げられている。市内の小学校11校、中学校5校も離着陸場所（ランデブーポイント）になっている。離着陸の際に砂ぼこりが発生することが懸念されるため、校庭の芝生化を推進する考えはないか。</p>	市長 教育委員長
	4. 開かれた行政の推進について	<p>市政に関する情報を、迅速かつ分かりやすく市民に提供することが求められている。市民の皆様が、日常生活に必要な情報や市政全般にわたる申請・手続き方法をまとめた手引書として、「くらしの便利帳」を作成する考えはないか。</p>	市長
3. 田口 幸一	1. 二級河川思川の堆積した土砂の除去について	<p>(1) 城瀬橋から楠元橋あたりまで多くの土砂が数 m 堆積している。早く取り除くように県に働きかけられないか問う。</p> <p>(2) 過去に発生した「8. 6災害」のことを覚えていますか。あの時、あと30分雨が降り続けていたら、池島町や俵原西、俵原東等は、だく流が堤防を越え、水没していたと考える。年</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 税の申告のあり方、健康診断のあり方について</p>	<p>次的でなく、早急に事業を実施する考えはないか。</p> <p>(3) 始良市には立派な県議会議員が2人おられる。働きかけてみてはどうか。災害は忘れた頃にやってくる。急を要する。市長の考えを問う。</p> <p>(1) 本年は申告場所が市役所の4号館になったとのことだが高齢者や障害者、車を持たない方々は大変不便になったという声を聞くが、その理由を問う。</p> <p>(2) 未申告者が増加し、税の減収につながるのではないかと。</p> <p>(3) 健康診断の場所が市保健センターになったこととで車を持たない方々や高齢者、障害者は大変不便になったという声を聞く。どのような理由からか。</p> <p>(4) ひいては、結果的に医療費増加につながるのではないかと考えるがどうか。</p>	<p>市長</p>
<p>3. 田口 幸一</p>	<p>3. 観光について</p>	<p>(1) 始良市には、立派な「やきもの」をされる技術者が数多くおられます。そこで、「窯元」を一カ所に集める方法を考えたらどうか。</p> <p>(2) そこで土地を市で提供してはどうか。(一カ所に広く)</p> <p>(3) 加治木まんじゅう、和紙、つけあげ、やきもの、有機野菜、黒牛、黒</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 年金について	<p>豚、農産加工センターで生産する物等 を売るコーナーを作ってはどうか。</p> <p>(4) ごみを落とすのではなく、金を 落とす。これが観光だと思うがどうか。</p> <p>(1) 始良市の国民年金保険料の納付 率はどのようになっているか。</p> <p>(2) 現在保険料を納めている人は何 人か。また、未納者は何人か。免除者 は何人か。申請免除・法定免除を明ら かにせよ。</p> <p>(3) 始良市民で国民年金受給額は総 額でいくらか。</p> <p>(4) 平成24年4月1日から年金は 0.3%引き下げられ、さらに平成2 4年10月1日からは0.9%引き下 げられる。年金生活者にとっては厳し い現実が待っている。厚生労働省に対 してどのような要望を市長会は行って いるのか。</p> <p>(5) 始良市民が受給している厚生年 金、各種共済年金等の受給額を明らか にせよ。</p>	市長
4. 湯元 秀誠	1. 市職員の適正配 置をすべき	<p>合併して2ヶ年が経ち市の組織機能 も軌道に乗りつつあり、市民の方々も 合併への不満も多少はないとはいえな いが、市民の暮らしは平穩に推移して いると思われる。しかし、職員の定数 配置など市民から疑問視される意見が ある。</p> <p>(1) 執行部側には人事権があり、適 正な職員配置を行う責務があるが、現</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 湯元 秀誠		<p>在どのような各職場の業務把握がなされているか問う。</p> <p>(2) 各職員、各管理職からの勤務、業務行程、報告などの提出はなされているか。また、職員の評価を含めどのような根拠を持って配置がなされているか問う。</p> <p>(3) 常備消防も福祉事務所も合併して市の直轄となり、慣例の固定化の改善と新たな業務の福祉事務所には特に監視を高める必要があると思える。生活保護申請の際など強い圧力を受けるなどの例もあり、職員は相当に苦慮し精神的負担も大きい。このような現場の状況の報告、協議、改善策はなされているか問う。</p> <p>(4) 常備消防分遣所は、現在5名の勤務体制となっている。出動の多重発生を考慮すると6名体制にするべきと考えるが方針を問う。</p> <p>(5) 建設現場などの管理、監督に職員数名で、終日出向しているなど「市の職員は相当余っていて暇なのか」との苦情がある。市民からも批判指摘されることでは適正な職員の配置に疑問が生じる。現在進めている行政改革と職員の適正配置には的確な改善の決定事項とすべきと考える。行革の真意を問う。</p>	
	2. 宇都トンネル早期の2車線化を	(1) 近年、奥之宇都線の宇都トンネルの交通量が著しく増加し、普通乗用車の離合さえも容易でない所へ大型車の進入の増加にてトンネル内での後退	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 湯元 秀誠		<p>を余儀なくさせられる車もある。もはや限界にあると見るが交通量を含め、現状理解がなされているか問う。</p> <p>(2) このトンネルは、旧吉田町と旧蒲生町との合議で建設されている。吉田町が鹿児島市となり旧蒲生町時に、このトンネルの重要性の認識を深め合議の上、トンネル増設の2車線化は方針決定事項である。現在の協議の進捗状況を問う。</p> <p>(3) 今回示された第2次始良市実施計画の過疎対策事業は、3ヵ年に5千万円ずつの配分でしかない。宇都トンネル改良はどの事業でいつの時期を見込んでいるのか問う。</p> <p>(4) 始良市過疎地域自立促進計画(22年～27年)では、このトンネルの早期整備の必要性和奥之宇都線のトンネル部を含む新設改良、延長330m幅員12mが明記されているが前期総合計画との整合性を問う。</p> <p>(5) 始良市の過疎地域自立促進計画は、時限立法の27年度までの「みなし過疎」であり、その指定要件を勘案して以後については不透明である。市の財政の健全化を保持していく為にも建設費の5割負担とはいえ、過疎対策事業で早期に取り組むべきと思うがその施政を問う。</p>	
5. 湯之原一郎	1. 中学校武道必修化について	平成20年3月28日に改定された「新学習指導要領」により、新年度から1年生・2年生時には男子、女子とも「武道」が必修となり、3年生では「球技」と「武道」から1領域以上を選択し	教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 湯之原一郎		<p>て履修することになっている。本市での取り組み状況について、以下の事項について問う。</p> <p>(1) 武道の種目選択の状況は、どうなっているか。</p> <p>(2) 武道教育に対応できる施設設備や武道具類の整備は十分に確保されているか。</p> <p>(3) 競技の特性上、安全面を考慮した指導が重要だと考える。体育教諭の中には、武道の指導経験のない先生も含まれると思うが、指導面での配慮はなされているか。</p> <p>(4) 武道の種目選択について、地域的特性を活かした事例が、全国で散見される。始良市には、由緒ある古武道の「示現流」が伝えられている。教育基本法にも「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことが謳われており、武道履修の目的にも合致していると思うが、武道の履修種目として検討する考えはないか。</p>	
	2. 待機児童問題について	<p>昨年 11 月 22 日付で 議会議長宛に蒲生地域在住の子育て世代の保護者の方々から連名で、待機児童に関する要望書が提出された。</p> <p>要望書の内容を要約すると、不景気の中で共働きの子育て世代にとって住みづらい問題が多くなってきている。子どもを入所させたい園には、すぐには入れず兄弟で別々の保育所に掛け持ち登園させなければならず苦勞した例</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5. 湯之原一郎	<p data-bbox="395 1272 692 1355">3. 大山小学校・新留小学校について</p> <p data-bbox="395 1848 692 1930">4. 「鈴野の森」の活用法について</p>	<p data-bbox="715 217 1283 784">や、市役所の対応に精神的な苦痛を受けた例。働きたいが、待機状態では仕事を探すこともできないなど様々な問題が列記されている。また、空きがないからとはじめから諦め、待機登録をしていない例や、空くのを待っている時間がないために 大楠ちびっ子園に入園させたいのだが、隣市の保育所に仕方なく入園させた例など、待機登録する以前の問題もあり、待機児童のデータにも問題があるのではないかなど、切実な思いが寄せられている。</p> <p data-bbox="715 788 1283 974">要望事項として「入所定員を見直し、特に未満児の定数を見直して、安心して働き、子育てができる環境を作ってほしい」と願っておられる。</p> <p data-bbox="715 978 1283 1164">「鹿児島県で一番すみやすい市」を目指している始良市として、待機児童解消対策にどう取り組んでいくのか問う。</p> <p data-bbox="715 1272 1283 1736">平成22年第1回定例会で、休校中の大山小学校・新留小学校について質問を行った。その際の答弁は、新入生の予定もあり、保護者の意向を踏まえつつ、児童の教育効果が最も上がるような方策を検討するとのことであった。間もなく2年が経過しようとしているが、この間校区民や保護者の方々とのような話し合いを持たれ、検討がなされたのか問う。</p> <p data-bbox="715 1848 1283 2067">市道岩井川内線の沿線に、環境保全林事業で整備された「鈴野の森」がある。芝生の広場や桜やツツジ等の植え込み、遊歩道等もあり、管理棟にはトイレや流し台等の設備も整備されてい</p>	<p data-bbox="1305 1272 1469 1355">市長 教育委員長</p> <p data-bbox="1305 1848 1374 1883">市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 湯之原一郎		<p>る。年に数回 草払いなどの周辺の環境整備もされているようであるが、市民への認知度が低く、ほとんど利用されていないように見受けられる。「鈴野の森」について、今後どう活用していくのか問う。</p>	